

1. 岩国・大竹道路の概要

◆事業の目的・計画概要

- ・岩国・大竹道路は、広島県大竹市小方一丁目と山口県岩国市山手町とを結ぶ、延長9.8kmのバイパスです。
- ・事業の目的は、一般国道2号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保、広島県と山口県間の広域的な連携・交流を図るものです。

計画概要

起 終 点	起点：広島県大竹市小方一丁目 終点：山口県岩国市山手町
計 画 延 長	9.8km
道 路 規 格	第1種第3級（起点～室の木IC（仮称）） 第3種第1級（室の木IC（仮称）～山手IC（仮称））
設 計 速 度	80km/h
車 線 数	4車線

◆進捗状況

- ・現在、用地買収、調査・設計及び改良工事を推進しています。

●事業全体の進捗状況(平成29年度末時点)

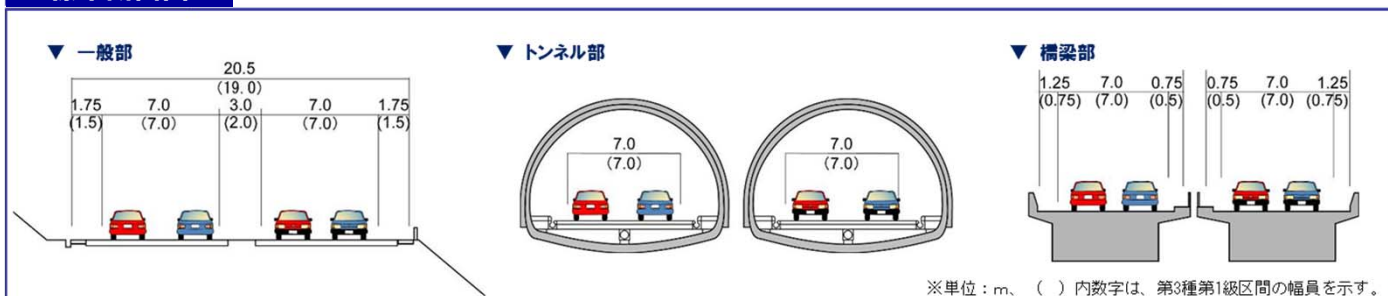
全 体 進 捗	約20%（金額ベース）
用 地	約89%（面積ベース）

詳細図



※記載されているインターチェンジ、橋梁、トンネル名称は仮称です。

標準断面図



1. 岩国・大竹道路の概要

◆国道2号・国道188号の課題

①交通混雑の緩和

- ・国道2号の大竹市街～岩国市街周辺には、12箇所もの主要渋滞箇所があり、市民の円滑な移動を妨げています。
- ・また、臨海部には、石油コンビナート群が広がり、多数の事業所が集積していますが、国道2号の交通渋滞により物流・経済活動等に支障をきたしています。



岩国市(岩国港交差点付近)の渋滞状況



● 主要渋滞箇所: 渋滞関連データや道路利用者の意見から、広島県内で90箇所、山口県内で78箇所が選定されている(平成29年8月時点)

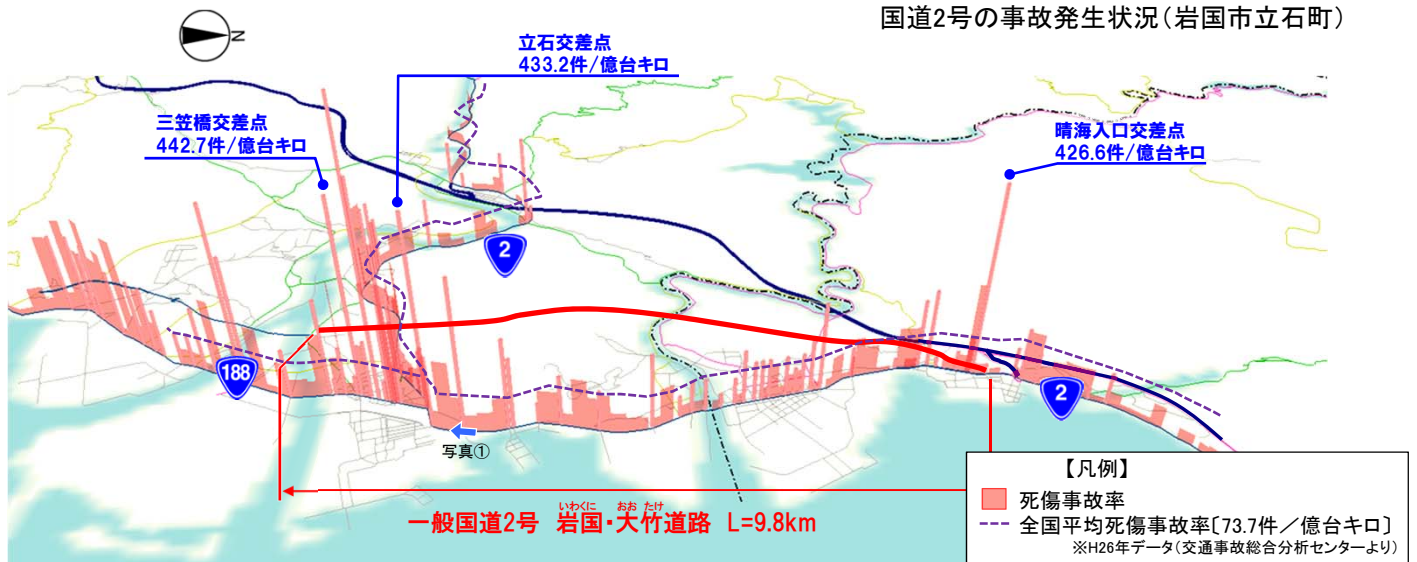
②交通安全の確保

- ・国道2号の大竹市街～岩国市街周辺では、死傷事故率が全国平均よりも高い箇所があるほか、交通渋滞に起因すると考えられる追突事故の発生割合が約5割を占めています。



国道2号の事故発生状況(岩国市立石町)

岩国・大竹道路並行区間(国道2号、国道188号)の死傷事故率の状況



2. 岩国・大竹道路の整備効果

◆効果① 高次医療施設へのアクセス向上

- ・大竹市消防本部管内では、岩国市内への救急搬送が約2割を占めており、特に3次救急医療施設である岩国医療センターへの搬送が多くなっています。
- ・岩国医療センターは、平成25年3月に愛宕山地域内に新築移転しており、引き続き大竹市内からの搬送を受け入れています。
- ・岩国・大竹道路の整備により、大竹市消防本部管内から岩国医療センターまでの搬送時間が短縮し、救命率の向上が期待されます。



◆地域の声

■大竹市消防本部

- ・大竹市内から岩国市内方面への搬送は岩国医療センターが多く、移転後も毎月10件以上の搬送を行っています。
- ・岩国・大竹道路の整備により、病院までの搬送時間の短縮や現在の区間に比べカーブや振動による搬送時の患者への負担軽減が期待されます。

いよいよ 岩国医療センター H25.3新築移転

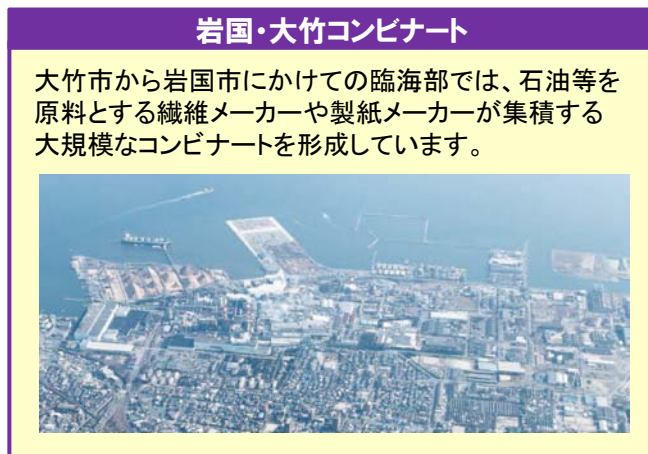
・H25年3月24日に黒磯町から愛宕山地区に新築移転



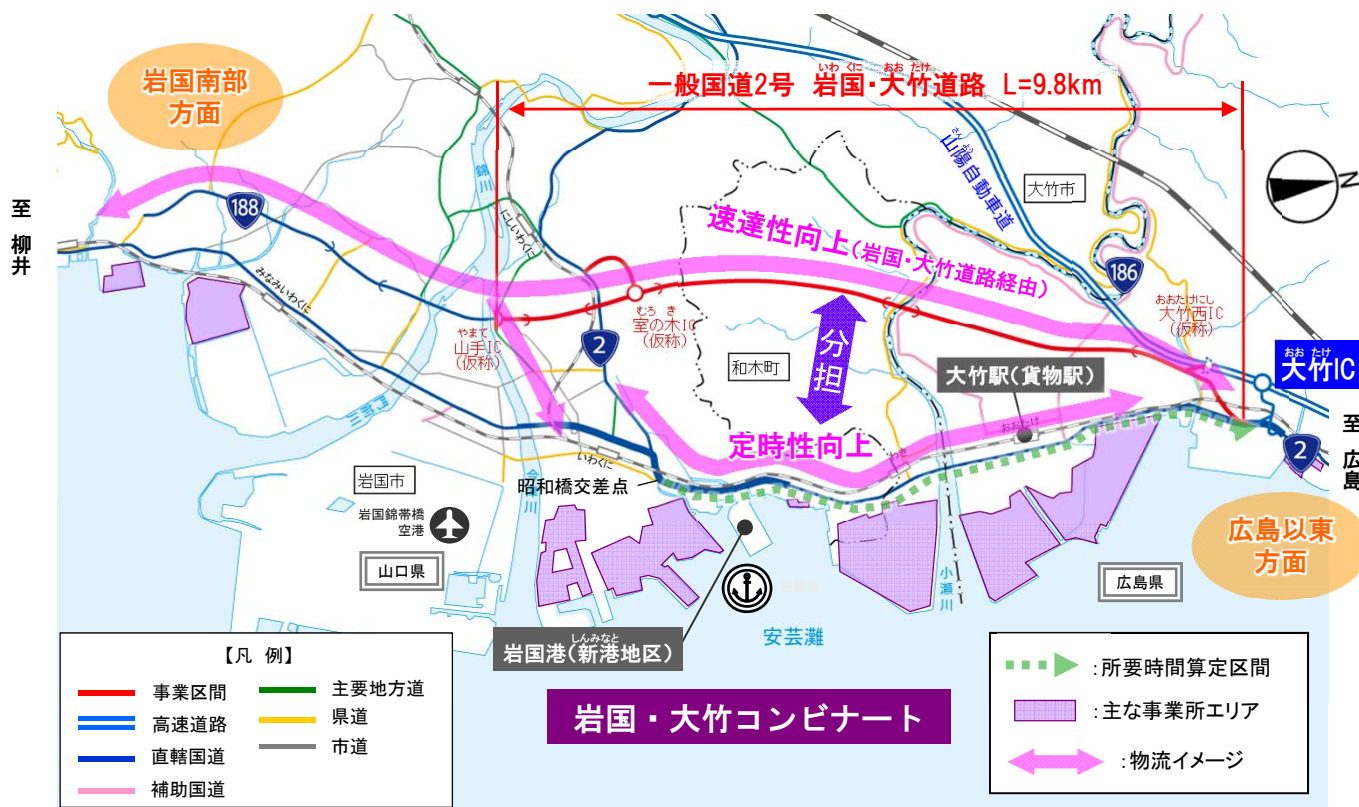
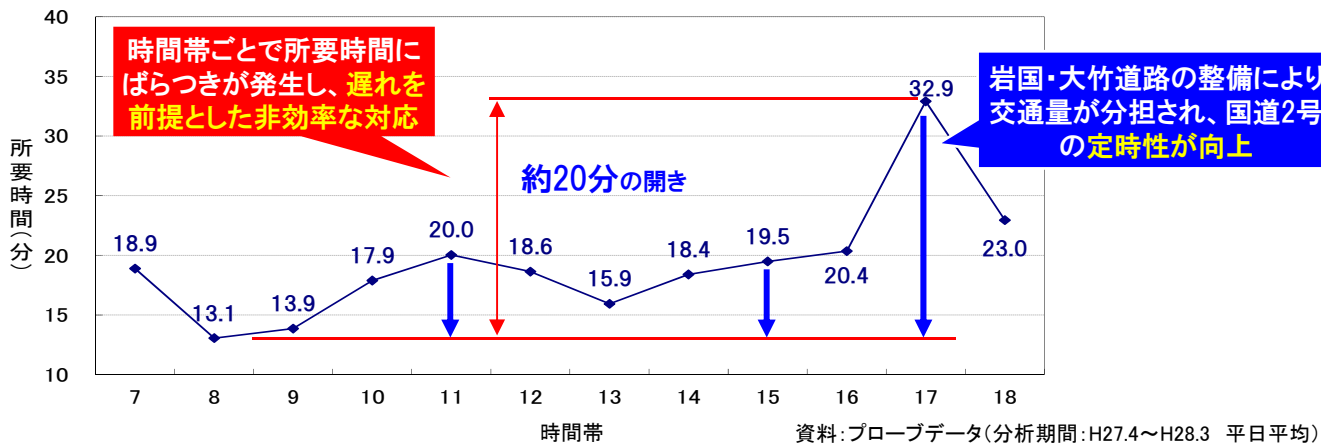
2. 岩国・大竹道路の整備効果

◆効果② 産業の振興

- ・岩国・大竹コンビナートの沿線では、時間帯ごとに輸送の所要時間にばらつきが発生しており、遅れを前提とした非効率な対応を強いられています。
- ・岩国・大竹道路の整備により、国道2号の交通渋滞が緩和され、定時性・速達性の向上による物流の効率化が期待されます。
- ・輸送がスムーズになれば、トラックの回転率向上等によるコスト削減が期待されるほか、渋滞を避けるための無理な時差通勤の負担が軽減される等、産業の振興に寄与するさまざまな効果が期待されます。



▼国道2号(昭和橋交差点から大竹ICまで)の時間帯別平均所要時間

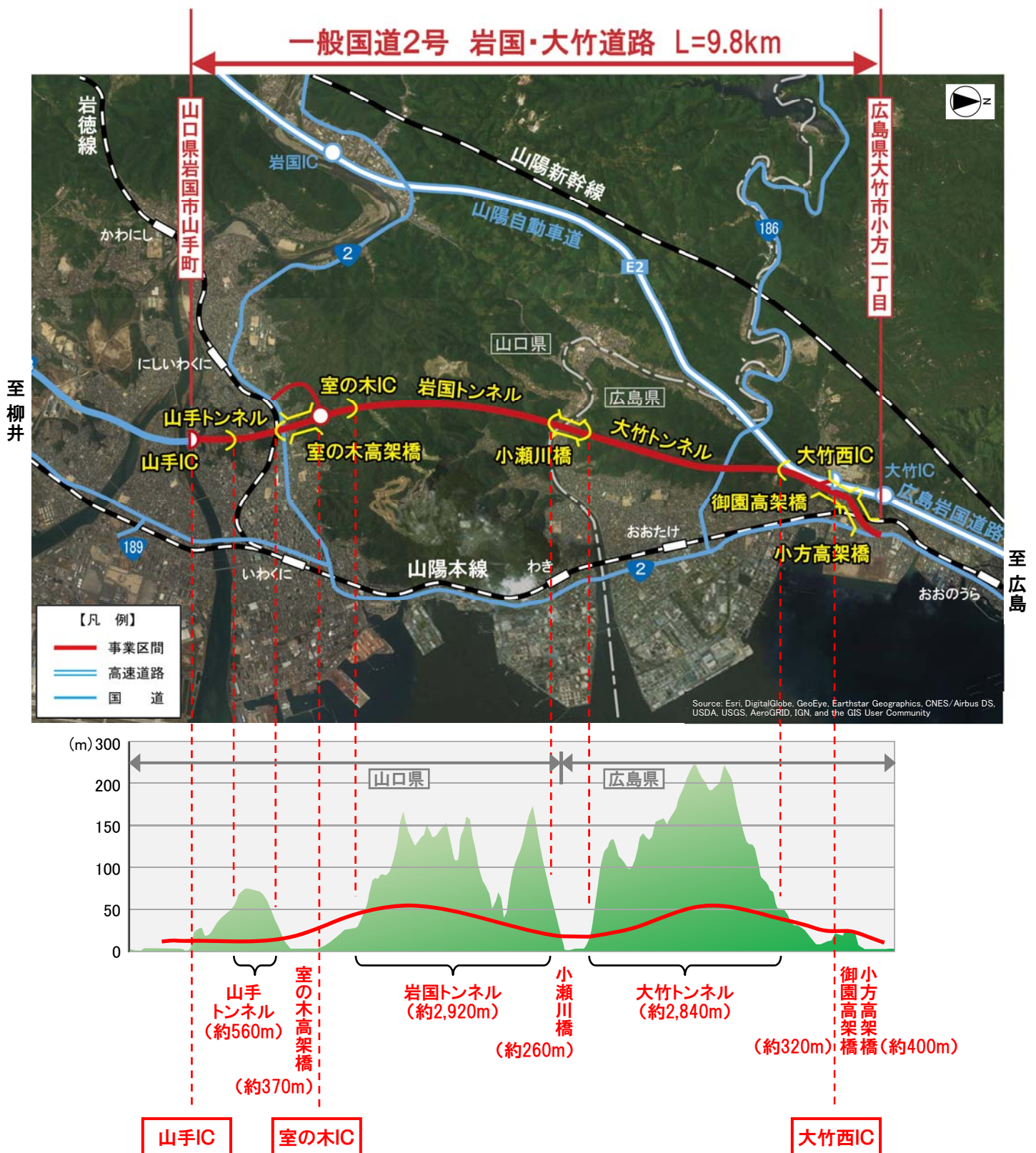


3. 岩国・大竹道路の特徴

◆トンネル・橋梁が主体の道路

- ・岩国・大竹道路は、標高200m前後の山地を貫くため、総延長9.8kmのうち、トンネル区間が約6.3km、橋梁区間が約1.0kmと、トンネル・橋梁が全体の約74%を占める構造物比率の高い道路です。
- ・山口県側には、岩国トンネル(延長約2,920m)と山手トンネル(延長約560m)の2つのトンネルが位置しています。

計画総延長		9.8 km
構造物延長	トンネル延長	約 6.3 km
	橋梁延長	約 1.0 km
構造物比率		約 74 %



※記載されているインターチェンジ、橋梁、トンネル名称は仮称です。